

令和4年12月9日

指定管理者の指定について（練馬区立稲荷山図書館）

1 内容

地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定に基づき、練馬区立稲荷山図書館の指定管理者をつぎのとおり指定する。

2 指定管理者

東京都中野区弥生町二丁目8番15号

株式会社 ヴィアックス

代表取締役 西 門 直

3 指定の期間

令和5年4月1日から令和10年3月31日まで（5年間）

4 選定の経過

令和4年5月6日	第1回指定管理者選定小委員会 (業務の範囲、利用料金制の採否、応募資格、評価項目・評価基準、指定の期間の審議)
5月18日	令和4年度第1回指定管理者選定委員会 (業務の範囲、利用料金制の採否、応募資格、評価項目・評価基準、指定の期間の審議結果の報告)
6月30日	第2回指定管理者選定小委員会 (募集要項の審議)
7月11日	ねりま区報および練馬区ホームページで公募、募集要項配布開始
7月15日	施設見学会・募集説明会（参加団体数4）
8月8日～8月12日	応募書類受付（応募団体数1）
8月12日	経営診断委託

9月4日	第3回指定管理者選定小委員会 (プレゼンテーションおよびヒアリングの実施) (応募団体の評価、採点)
11月2日	令和4年度第2回指定管理者選定委員会 (応募団体の審査、指定管理者候補の決定)
12月9日	令和4年第四回練馬区議会定例会 (指定管理者指定議案議決)

## 5 選定の理由

選定に当たっては、応募団体の企画書、プレゼンテーションの内容、経営診断結果その他提出書類等をもとに評価した結果、公立図書館の運営実績を有しており、安定的な施設運営が期待できること、また、館の特徴である昆虫事業や、周辺施設や団体と連携した事業の発展が期待できること等の理由により、株式会社ヴィアックスが練馬区立稲荷山図書館を運営するにふさわしいと判断した。評価項目ごとの評価内容（主な提案の内容、評価した点等）はつぎのとおりである。（審査結果は、別表のとおり）

なお、指定管理者選定委員会および指定管理者選定小委員会では、有識者委員を加えて評価を行った。

### 【団体審査】

#### (1) 安定性・継続性

利益を上げる力および事業効率性については平均的であり、借入金の返済能力と経営の安全性が高い。また、資金力は優れており安定した経営が可能である。

#### (2) 組織体制

個人情報保護、情報セキュリティおよび情報公開に関する規程を整備し、適正に運用している。また、定期的実施する内部監査において、統括管理者による個人情報等に関するチェックシートを用いた自己評価および監査役による現地確認を実施する等、個人情報の保護に積極的に取り組んでいる。

労働関係法令に基づき、給与規程、就業規則等を定め、適正に運用している。また、ハラスメント窓口を設置する等、スタッフからの相談を受ける体制を整備し、働きやすい職場環境づくりに努めている。

(3) 団体の施設運営実績

稲荷山図書館と同規模施設の運営実績を含む、多数の公立図書館の指定管理者としての運営実績があり、図書館の運営を円滑に行う能力と実績を十分に有している。練馬区内においては、平成24年度から春日町図書館、平成25年度から稲荷山図書館の指定管理者として施設の管理・運営を円滑に行っており、各館のモニタリングの結果も良好である。

(4) 区内事業者か否か

区内事業者ではない。

**【提案審査】**

(5) 施設運営体制

練馬区立図書館ビジョンの基本理念の実現に向け、地域の活動・交流の場として必要な情報を必要な方々へ届け、地域の特性を理解した事業を展開するとともに、「充実した研修で人材（財）の育成に努めます」「魅力的な企画事業を展開し、利用を促進します」「積極的に社会貢献・環境問題に取り組みます」「新しいことにチャレンジし市民の期待に応えます」「人にやさしい会社を目指します」の5つの視点から、図書館運営に取り組むとしている。また、特色ある事業、図書館づくりに向けた取組として、館の特徴である「昆虫事業」を引き続き実施し、広めていく提案があり、評価できる。

インターネットを活用しての未利用者への意見聴取や、来館者等へのインタビュー実施を通して得たニーズを館内で共有する等、より多くの意見を運営に反映し、満足度の向上を図る提案があり、評価できる。

司書等資格取得を目指すスタッフに向けて、大学との協定による入学金の免除や特別休暇の付与等の支援体制を整えている。

求められる役割や知識を学ぶ階層別研修とそれぞれの経験や能力に合わせて必要な知識や技術を学ぶ選択研修、スキルアップのためのe-ラーニングコンテンツの配信、館長養成講座の実施等、新しいサービスに対応し、図書館業務をトータルにマネジメントできる人材の育成を目指す提案があり、評価できる。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組として、利用者に対しては、入口での検温およびアルコール消毒や会議室利用者への消毒セットの提供、スタッフに対しては、出勤前の体調管理や休憩室の間仕切りの設置等、徹底した感染症対策を行いながら図書館サービスを展開するとしている。

これらの提案から、当該施設を適切に運営する体制が整っていると評価した。

(6) 利用者等への対応

スタッフ全員が利用者に分け隔てなく接することができるように、研修等を通じて知識獲得やスキル向上に取り組むとともに、コミュニケーション補助用具の導入や施設の改善等の環境整備にも努める等、利用者の状況に応じた配慮ある対応の実現に向けた具体的な提案があり、評価できる。

また、苦情やトラブルへの対応について、受託図書館でのトラブルをまとめた事例集を活用した実践的な研修を行い、スタッフのスキルアップにつなげるほか、施設内の巡回や意見箱の活用等により苦情やトラブルの未然防止に努める提案があり、評価できる。

これらの提案から、利用者等への適切な対応が期待できると評価した。

(7) 施設の維持管理・安全性への配慮

施設の状態を認識し、定期保守点検や施設維持管理業務の的確な実施、異常・故障個所の早期対処に取り組むほか、日常清掃・定期清掃内容について年間計画書を作成し確実に実施するとしている。

また、事故や災害等の緊急時を想定して、館専用の「危機管理対策マニュアル」を制定し、研修等で周知徹底する等、利用者およびスタッフの安全確保に努めている。

これらの提案から、区の求める基準を満たしていると判断した。

(8) 効率的な管理運営

本社担当者が、効率的かつ効果的な管理運営を実現できるよう事業計画の進捗管理等を行い、施設の運営全般をバックアップするほか、業務量を想定したジョブローテーションを作成し、メリハリをつけた人員配置による、安定したサービスの提供と経費のスリム化を目指す提案があり、評価できる。

館長候補については、稲荷山図書館の現館長を引き続き配置する提案がある。

これらの提案から、効率的に管理運営されることが期待できると評価した。

(9) 施設特性に応じた評価項目

近隣の稲荷山憩いの森での昆虫事業を発展させ、定期的に昆虫の分類・分布状況を調べ、身近な環境や生息昆虫について知ってもらうことにより、図書館資料の活用や利用促進につなげる、館の特徴を生かした新たな提案があり、評価できる。

高齢者を対象に、趣味・介護・健康・生活の各テーマの本や大活字本を並べた「い

きいきコーナー」を近隣町会の回覧板を活用してPRする取組や、老化予防につながる事業や参加者同士の交流が生まれる事業の拡充等、施設の特性に応じた事業の提案があり、評価できる。

図書館資料管理について、館長代理を中心とした選書会議を週1回開催するとしている。また、配架・書架整理を効率的かつ効果的に管理するため、「書架エリア担当」を割り振り、日常的に管理する中で、書架密度や利用状況を把握して蔵書分析に生かすとしている。

これらの提案から、稲荷山図書館の施設特性に応じた事業展開が期待できると評価した。

#### (10) 地域への貢献

スタッフ採用については、区民雇用率70パーセント以上を目標とし、地域の雇用創出に積極的に取り組むとしている。また、清掃や設備機器の保守点検等の再委託を行う業務の大部分を、区内事業者へ委託する等、積極的な区内事業者の活用を目指す提案があり、評価できる。

これまで実施してきた中里郷土の森や近隣農園と連携した、マルシェやスタンプラリー等を継続するほか、新たな連携先も模索しながら、区民や地域との協働を促進するとともに、学校支援で学校を訪問した際に、昆虫標本3Dアーカイブ等の昆虫事業を積極的にPRし、相互連携を図っていく提案があり、評価できる。

これらの提案から、区民雇用の促進や区内事業者の活用、周辺施設等と連携した事業の発展が期待できると評価した。

## 指定管理者（株式会社ヴィアックス）選定の審査結果（練馬区立稲荷山図書館）

	評価項目	評価基準	配点	得点
団体 審 査	1 安定性・継続性	(1) 利益を上げる力の有無 (2) 事業効率の状況 (3) 資金力の有無 (4) 借入金の返済能力の有無 (5) 経営の安全性	5点	4点
	2 組織体制	(1) 個人情報保護および情報セキュリティ確保のための取組 (2) 情報公開の取組 (3) 法令等の遵守（労働関係法令の遵守を含む。）に対する団体の取組	5点	4点
	3 団体の施設 運営実績	(1) 稲荷山図書館と同規模施設の運営実績 (2) 現在、運営している施設の状況および施設での取組 内容・取組の成果 (3) 過去のトラブルへの対応状況	10点	8点
	4 区内事業者 か否か	(1) 区内事業者である、または構成員に区内事業者が 含まれる	10点	0点
提 案 審 査	5 施設運営体制	(1) 施設の設置目的・現状を踏まえた管理・運営の基本的 な考え方 (2) 現在のサービス水準の維持および向上のための提案 (3) 利用者ニーズの把握とニーズを反映させるための取組 (4) 職員に対する教育、研修体制 (5) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための取組	25点	20点
	6 利用者等へ の対応	(1) 利用者への公平公正な対応 (2) 利用者等の人権の配慮 (3) 苦情解決体制 (4) 職員の接遇に関する取組	25点	20点
	7 施設の維持 管理・安全性 への配慮	(1) 日常的な点検体制 (2) 災害その他緊急時の危機管理体制 (3) 管理上の不具合や問題の区への報告体制	30点	18点
	8 効率的な 管理運営	(1) 効率的・効果的な人員配置 (2) 再委託の範囲の妥当性 (3) 事業計画と収支計画の妥当性 (4) その他効率的・効果的な施設運営に係る提案 (5) 提案金額の妥当性	30点	24点
	9 施設特性に 応じた 評価項目	(1) 館、地域や利用者の特性に応じた事業の提案内容 (2) 図書館事業の利用促進につながる提案内容 (3) 図書館資料の管理に関する提案内容	30点	24点
	10 地域への 貢献	(1) 区民雇用の促進（非常勤・臨時職員を含む。） (2) 再委託における区内事業者の活用・物品の区内事業者 からの調達 (3) 地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携の 推進	30点	24点
合 計			200点	146点